



議会だより

Shari Town
Assembly

総務文教常任委員会 町内所管事務調査
朝日小学校長寿命化改修事業



総務文教常任委員会 町内所管事務調査
知床博物館



町内施設の現状と 今後の課題を確認!

産業厚生常任委員会 町内所管事務調査
カムイワッカ湯の滝



産業厚生常任委員会 町内所管事務調査
オロンコ岩



No.202 令和6年・2024年2月1日

議会だよりのバックナンバーは
↓↓↓↓↓こちら!



ちいき本棚

<https://cccc.backshelf.jp/?folsek=859>



目次

- P 2…11月臨時会議 条例・補正予算
- P 3…12月定例会
議決議案・条例・補正予算・人事案件など
- P 4…全員協議会
- P 6…一般質問
6名の議員が町政を問う
- P11…議会研修会報告
- P12…町内所管事務調査報告
(総務文教・産業厚生 常任委員会)
- P14…委員会活動報告・編集後記など

臨時会議・定例会議



11月臨時会議

■ 条例改正

- 斜里町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 期末手当の改正（0・10月分の引上げ）

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 給与水準の見直し（俸給表平均1・1%引き上げ）
- 期末手当、勤勉手当の改正（各0・05月分、計0・10月分の引上げ）

- 斜里町一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例
- 期末手当の改正（0・10月分の引上げ）

- 斜里町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 給与水準の見直し



■ 一般会計補正予算

第6回

【教育】

- 遠距離通学児童生徒対策（スクールバス運行業務委託）事業
- 869万円

11月24日

貸切バスの運賃（料金）に関して、国土交通省から令和5年10月に新運賃額（下限額）の公示があったため、現在「斜里バス株式会社」と契約しているスクールバス単価を改定



- 学校保健特別対策事業（感染症流行下における学校教育活動体制整備事業）

340万円

スポーツクーラー25台を町立学校に整備



■ 一般会計補正予算

第7回

- 斜網地区新中間処理施設整備負担金

96万円

■ 特別委員会の設置

第6次斜里町総合計画調査特別委員会が設置されました。

12月定例会議

12月20日～22日

一般会計補正予算 第8・9回

【総務】

- 庶務管理システム導入事業 873万円
職員の時間外労働の削減や効率化するためにシステムを導入

● 旅券発給事業

- 79万円
パスポートの申請、発給するための機器購入やシステムを導入

【農業】

- 農業委員会サポートシステムデータ移行事業 252万円
台帳を一つにし閲覧しやすい環境を整備

【民生】

- 外国人人材住宅支援補助金 150万円
介護職を担う外国人に対する住宅支援

● ウトロデイサービス事業運営費助成金

- 182万円
燃料費高騰に伴い、助成金を追加

● 認定こども園熱中症対策補助金

- 102万円

認定こども園の冷房機器購入を一部助成

【財産収入】

- 町有財産売り払い収入 1039万円
公募していたウトロ西宅地の売払いに伴う収入

他、特別会計（国民健康保険事業、公共下水道事業、後期高齢者医療）、病院事業会計の各補正予算も可決されました。

議決議案

- 工事請負契約（朝日小学校長寿命化改修工事）の締結の議決事項の変更について
変更前…3億7950万円
変更後…4億571万円

● 公の施設（寿の家）に係る指定管理者の指定について
3年予算（令和6年～8年）
指定管理料 280万円

● 公の施設（知床自然センター他）に係る指定管理者の指定について
3年予算（令和6年～8年）
指定管理料 1億2748万円

● 公の施設（斜里町産業会館）に係る指定管理者の指定について
3年予算（令和6年～8年）
指定管理料 1161万円

● 公の施設（みどり工房しゃり）に係る指定管理者の指定について
3年予算（令和6年～8年）
指定管理料 7355万円

条例制定・改正

- ◆ 斜里町手数料条例の一部を改正する条例
戸籍電子証明書提供用識別符号の発行1件 400円
除籍電子証明書提供用識別符号の発行1件 700円

◆ 斜里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
関係法律の改正に伴う引用部分の項くり上がり
既存規定の不備の補正と適用対象を明確化する規定を追加

◆ 斜里町子育て支援センター設置条例の一部を改正する条例
・ 開設場所の変更（ぼると21へ）
・ 事業内容を国の要綱に準拠し改める。

人事案件 選任の同意（敬称略）

■斜里町情報公開審査会委員

瀧川 誠、田畑 芳子、横内 正元、
遠藤 雄大、八幡 一也



- ◆斜里町印鑑条例の一部を改正する条例
 - ・移動端末設備（スマートフォン）による印鑑登録証明書の交付
- ◆斜里町公共下水道設置条例、斜里町公共下水道事業特別会計条例2件を廃止する条例
- ◆斜里町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定
- ・公営企業会計の適用を推進するため2件を廃し、新に条例を制定

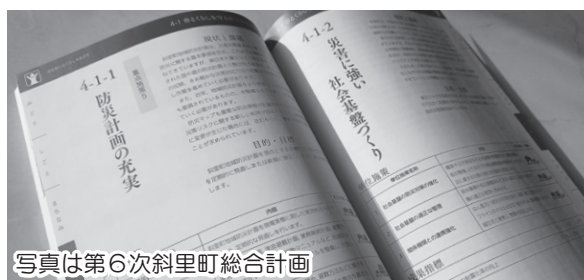


全員協議会

町から町政全般に関わる事項や、重要施策についてあらかじめ補足的な説明を受けるため必要に応じて開催される会議です。12月定例会議では9件でした。

① 第7次斜里町総合計画策定作業の進捗状況について

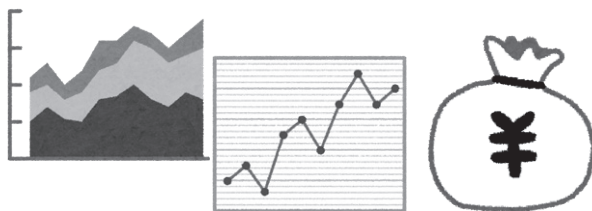
町民策定委員会は昨年8月24日の諮問以降、全体会議6回、部会長会議2回、7部会の会議計41回開催され、町民策定委員からの色々な意見について行政内部での修正・意見を加え計画の精度を高め、第6回会議において町長に「提言」を提出するに至った。今協議会ではこの「提言」に基本的事項などを加えた原案が示された。



写真は第6次斜里町総合計画

② 斜里町中期財政収支計画の策定について

斜里町が将来にわたって真に必要な町民サービスを提供する上で、必要不可欠な健全財政を実現するため、具体的取り組み（財政目標・財政健全化対策）をまとめた今後5カ年の基本的な指針が示された。



③ 斜里町債権管理条例(案)の策定について

町の債権の管理に関する事務の処理について、必要な事項を定めることにより町の債権管理の一

層の適正化を図り、町民負担の公平性及び財政の健全化を確保することを目的としている。

④ 斜網地区循環型社会形成推進地域計画の策定について

基本的事項については、対象地域を1市4町(網走市・美幌町・斜里町・小清水町・大空町)での構成。廃棄物処理施設の工事計画額の設定では、メーカー10社にアンケート調査を実施。

今後のスケジュールとして、令和5年12月北海道へ地域計画(案)を提出。令和6年1月国へ地域計画(案)を提出。令和6年3月国による地域計画の承認、処理方法の決定。令和6年4月交付対象事業交付金申請、各事業発注準備の予定である。



⑤ 第9期斜里町高齢者保健福祉計画・斜里町介護保険事業計画の中間報告について

町の総人口は減少傾向にあり、令和12年度には人口が9,688人になる見込みである。また、75歳以上の人口は増加し、令和12年度における高齢化率は36.76%となる見通しである。

令和5年度の保険給付費実績では、施設サービス・在宅サービスの一部休止があり、計画値を大きく下回った。今後の取り組みとして、包括的な支援体制の整備を含め家族介護者(ケアラー)支援体制の充実を重点施策に加えるとしている。



⑥ 社会福祉法人斜里福祉会の今後の運営について

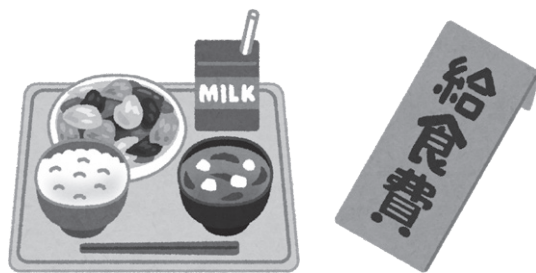
福祉会の経営改善案では、役職員全員で地域の協力を得て職員確保に努めること、また町の協力を得て、介護福祉専門学校の学生向けに就学支援制度の創設を目指すこととしている。

町としては、斜里福祉会の職員確保の考え方を

転換(外国人材から地域人材への移行)させること、また出直しの再編案として、介護福祉施設を斜里町に残し町民の安心安全を守ることを前提とし、地域住民の参画・専門家を交えた職員・役員の意識改革が必須であると考えている。

⑦ 学校給食費の改定について

学校給食は適切な栄養の摂取による健康の維持・増進を図ることを目標の一つとしているが、食材価格が上昇している現状からこれまでの対応では、学校給食摂取基準を維持することが困難な状況であるため、給食費増額の検討が必要である。給食費の改定時期については、令和6年4月としている。



⑧ 新学校給食センター整備事業について

現給食センターは築30年以上が経過し、老朽化及び狭隘さを起因とする課題や徹底的な衛生管理への対応が急務となり、新たな学校給食センターを整備することで、さらなる安心安全でおいしい給食の安定的な提供を目指す。

今後の事業計画については、建設予定地・基本

構想策定、企画提案型プロポーザル方式による業者選定、基本構想(案)のパブリックコメント実施、DBO契約締結・着工・完成(令和7年~8年)。新センター運営管理(給食提供)開始は令和9年、管理運営業務委託期間は15年間を予定している。

⑨ 斜里町パートナーシップ宣誓制度の導入について

性的マイノリティの方の生きづらさの軽減を図るため、誰もが性別や性自認に関わらず多様な選択ができるよう斜里町パートナーシップ宣誓制度を導入する。

東オホーツク定住自立圏を構成する自治体(網走市・斜里町・小清水町・清里町・大空町)で同一内容の要綱を制定する予定であり、制度運用開始は、令和6年4月を予定としている。



小暮 千秋 議員

新図書館オープンから8年、さらに親しまれる図書館に!



録画映像を動画でチェック▶

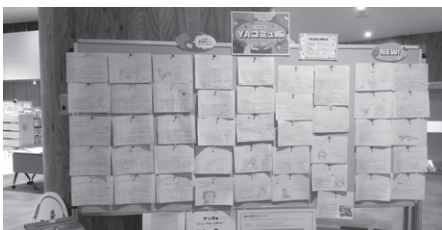
中高生の居場所づくりは?

問 新図書館はオープンから8年経ちました。次期図書館運営推進計画策定に向けて、今後の方向性をお聞きます。

中高校生向けサービスとして会議室の利用状況と課題は?

教育長 中高校生はテスト勉強や適応指導教室、休憩や食事の利用もあります。課題は音の反響が大きく、今後は防音・吸音等の処置も必要であると考えています。

問 今年度は特に中高校生向けの取組みがされました。交流掲示板の設置や、9月には大学生や社会人に勉強を教わったり悩み



人気の中高校生限定の交流掲示板。職員のお返答にも注目です。

を相談する場づくりを試行されました。この効果はどうでしたか?

教育長 4日間でのべ51人が参加し、「将来の夢が見つかった」など効果があったと受け止めています。

今後は恒常的に実施できないかを含め継続を検討していく考えです。

外国人の利用促進

問 「交流の場」として今後は外国人の利用促進も考えてはいかがですか?

教育長 もっと気軽に利用できるよう、ピクトグラムの設置や外国人向け図書コーナーの設置、日本語学習講座の実施など、次期計画に盛り込んでいきたいと考えています。

問 「憩いの場」として、カフェの併設を求める声もありますが今後そうした施設整備の考えはありますか?

教育長 面積の制約、設備の整備、人手確保などの課題があります。まずはコピー等提供する機能をどうするか検討を進めます。

斜里町全ての学校をユネスコスクールに!

問 斜里町では現在知床ウトロ学校、朝日小学校、斜里高校がユネスコスクールに加盟しています。具体的な活動として

は「ふるさと学習」を中心に、近隣のユネスコスクールとの交流、連携も行われています。世界自然遺産の町・斜里町にふさわしいユネスコスクール、全ての学校が加盟校となることが望ましいと考えています。

現在、未加盟校において加盟申請は進んでいますか?

教育長 加盟申請の手続きは行っていない状況です。

今後は情報提供をしながら学校とも協議をしていきます。

学校間の交流促進は

問 他校種間の連携としてユネスコスクールを軸にした交流ができるか考えます。実施可能なことから取り組んでは?

教育長 現在も小中高の連携として朝日小学校に

斜里高校生が出向き学習サポートやキャリア学習の講師をしています。ユネスコスクール加盟校になることで先生方の意識の変化などもあると考えています。

ユネスコスクールはESD推進拠点です

問 次期総合計画はSDGSの理念のもと策定が進んでいます。教育行政においてはESD(持続可能な開発のための教育)の実践は欠かせないと考えますが、教育長の所見をお聞きます。

教育長 新学習指導要領においてESDは基盤となる理念とされ「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられています。ESDの実践が大変重要との認識は議員と同様であり、現在策定中の第7次総合計画においてこれを明記する予定としています。

問 ESDの推進はユネスコが主軸であり、文科



先日開催された知床圏ユネスコスクール4高校によるフォーラムでは環境問題について活発に意見交換がされました。

省もユネスコスクールをESDの推進拠点として位置づけています。

ESDを推進していくのであればなおのこと斜里町全ての学校が加盟校になることを目指してはと考えています。また、2025年には世界自然遺産登録から20周年を迎えます。それに向けて、取り組んではいかがですか?

教育長 道内加盟校のうち知床圏には特に集中しています。今後、道内のユネスコスクールのESD先進地となっていく可能性もふまえて検討していきます。



渡邊 誠 議員

ヒグマ対策について



録画映像を動画でチェック▶

今回のヒグマ対策で町としてどのような課題や問題点があると認識していますか?

町長 住居が集合している地域での銃の使用について法整備が追いついていない点、地域の人的資源だけでは限界な点、また専門人材配置や応援派遣の支援が必要と考えます。観光客に対しての情報周知も課題と考えています。

問 中長期的な視点でヒグマは保護したいのか? 安全を優先して頭数制限管理をしたいのか? どちらでしょうか?

町長 どちらかではなく両立を今後も考えています。私としては、人間の命が最優先と考えます。
問 住民支援の視点で子育て世代の遊び場の制限による子供と親のストレス、子供たちの登下校の親の送迎対応による対応負荷がありました。住民支援についての所見は? 町長 子どもたちの登下校については恒常的に続くのか今年度の情報を分

析しながら検討しなければなりません。

次回に向けてどう仕組み化すべきか?

町長 斜里町だけで考えられることではなく、ヒグマ管理計画など3町



入湯税の使い道を再検討すべきでは?

観光に使っているお金の総額と比率は?

問 斜里町の令和4年度の入湯税の総額は約3600万円でしたが、この予算の使い方は長期間変わっておりません。

観光関連の事業者が納税者である観光客への説明が困難であると考えます。また、一般財源化している指摘されても

(斜里、羅臼、標津)での検討になります。

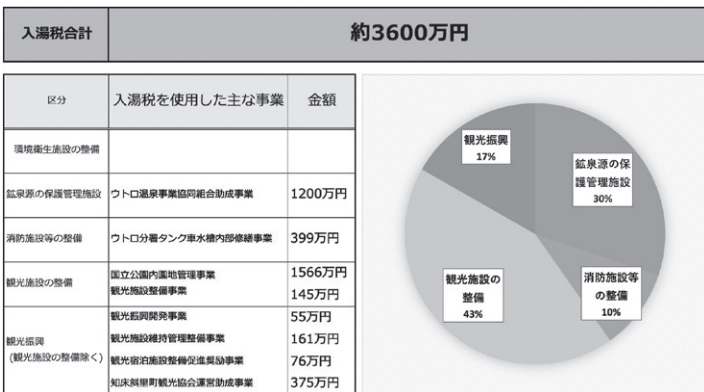
問 同様のケースが起った場合にヒグマ対策本部を町で設置する考えはありますか?

町長 対策本部に準じた形が良いのか改めて検討していきます。
町独自での対策本部は立ち上げていく予定です。BCPでのマニュアル化については時間がかかると考えます。

かしくありません。今後、宿泊税の導入も検討される中、目的税の使用について再度見直す必要があると考えます。令和4年度における町の歳出予算の中、基幹産業である観光に使用しているそれぞれの金額比率は?

町長 令和4年度の観光費は1億5600万円であり、歳出に占める割合は1.63%です。
問 宿泊税が導入された

令和4年度 入湯税の用途状況



場合は先ほどの観光費総額1.56億円、比率1.63%は変わらず一般財源との比率が変化するだけでしようか? 町長の所見をお聞かせください。

町長 情勢によって対応していきたい。1.63%にこだわるものではありません。

宿泊事業者、観光客のニーズはどこ?

町長 事業者ニーズは誘客対策、情報発信、公共

入湯税使用項目の意見交換会を実施してみたいは?

町長 導入検討をしている宿泊税の用途との棲み分けを含めて地域関係者の意見も聞きながら整理していく考えです。

問 今後、観光振興に対する支援金額も含め、町長の所見を伺いたいと思います。
町長 観光船の事故以降、観光事業は斜里町は大きな産業と認識しています。観光地を多くの皆様に知ってもらい、見る観光、感じる観光、学ぶ観光の3つの視点を目指していきたい、これまで以上に様々な財源を活用し、観光地を整備していきたいと考えています。



久野 聖一 議員

医療従事者にも、クーラーの設置を!



録画映像を動画でチェック▶



斜里町国保病院の看護師宿舎

問 斜里町では、今年の夏の猛暑に対する対処として、朝日小学校を始め各学校や認定保育園のクーラーに対する前倒しの予算を決定し、設置対策等が考えられております。一方で、町民の命を守る国保病院のクーラー設置については、一般病棟の設置など患者への対応はそれなりに取られておりますが、医療従事者の環境はまだ充分とは言えません。病院に隣接している看護師宿舎や医師の控え室などにもクーラーを設置し、職員がベストなコンディションで望む事が健全であり、安心して利用できる病院につながるものと感じております。町長の考えを

お聞かせ下さい。
町長 病院のクーラー設置につきましても、療養環境改善のため診察室や病棟の一部等で整備してありますが、外来待合室や常勤及び非常勤医師の控え室等には整備がされていない状況となっております。人材の確保や職員がベストなコンディション

でサービスを提供していく上でも、クーラーの整備は必要と考えておりますが、まずは外来待合室や病室等の療養環境の改善を優先し、その後段階的に医師控え室、看護師宿舎等の環境改善について検討を進めて参りたいと考えています。

斜里町顕彰・表彰式をさらに価値のあるものに!

問 人生の中でいろいろな機関、また場所において、『表彰』される事は、その方の価値を見出されたことであり、これから

の人生のひとつの道標です。今年も11月3日に斜里町顕彰表彰式が行われましたが、最近が自治会表彰や、町長表彰など欠

席者も目立つようになっています。必ず関係者が出るような対策を取ることも、また表彰内容の読み上げも以下同文ではなく、工夫をされることによつてさらに価値のあるものになると思います。
この表彰式が人生で最高に価値のある日になるように、皆さんで知恵を出し合つて素晴らしいものにしていく必要があるかと思いますが、町長の考えをお聞かせください。
町長 顕彰者に対する表彰の方法・読み上げ方について、工夫をした方がよいとの指摘をいただきました。表彰の価値を高めるという観点からは私も同じ思いであり、ますので、ご指摘を参考にしていこうとにも、式典の方法についても工夫をして参りたいと考えております。

斜里町顕彰・表彰式



令和5年11月3日 午前10時
ゆめホール知床 文化ホール

斜里町
顕彰・表彰式のパンフレット

この表彰式が人生で最高に価値のある日になるように、皆さんで知恵を出し合つて素晴らしいものにしていく必要があるかと思いますが、町長の考えをお聞かせください。
町長 顕彰者に対する表彰の方法・読み上げ方について、工夫をした方がよいとの指摘をいただきました。表彰の価値を高めるという観点からは私も同じ思いであり、ますので、ご指摘を参考にしていこうとにも、式典の方法についても工夫をして参りたいと考えております。

議会のお知らせ

次の定例会議は3月の予定です

日程など、詳しくは折り込みチラシ等でお知らせします。

議長宛の文書は議会事務局へ

議会議長宛の文書や案内状は、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議会事務局へお届け願います。



金盛 典夫 議員

斜里町沿岸の海底環境調査について



録画映像を動画でチェック▶

問 斜里町の漁業に占める割合が非常に高いサケ・マスの不漁が長期に及んでおり、ホタテ、ホツキのほか毛ガニなど浅海資源も不振が続いています。

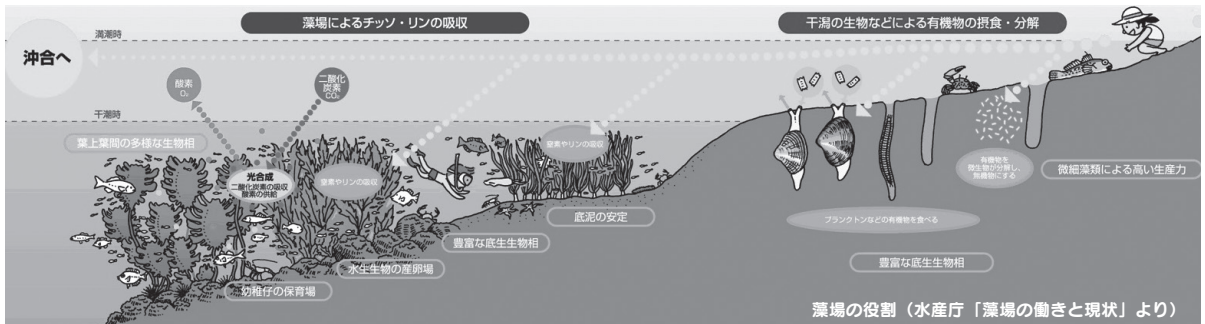
ホタテ資源の減少は底質の悪化が原因とされ、ホツカイシマエビの不漁は藻場の消失が原因とも言われています。

浅海資源の漁場再生事業及びブルーカーボン推進に向けた対策を講じるために、沿岸の海底環境調査、モニタリング、そして漁場造成が必要です。

水中ドローンなどを用いた海底の環境調査を行う考えはないか伺います。

町長 昭和63年に漁場基本図を作成し漁場造成や環境調査を行いました。ホタテは成長悪化により平成5年以降大規模な稚貝放流を停止しました。

その後、漁業関係者により海洋観測ブイの設置や観測を続けており、今後も漁業関係者の要望を受け、試験研究機関の意見を参考に海洋環境の調査や調査支援を検討してまいります。



海岸浸食防止のための養浜工法について

問 斜里町の海岸は大塚から峰浜地先まで長大な砂丘地帯となっています。

しかし、砂の供給が途絶えたためか浸食が著しく、年を追うごとに加速しているように見えます。

海岸の浸食が長期にわたれば防潮保安林の喪失をもたらし農作物への塩害にもつながりかねません。

また、海岸砂丘林はオホーツク特有の景観を形成し、縄文時代から近世に至る国指定史跡に匹敵する貴重な遺跡が多数存在します。

海岸浸食を止める方法の一つとして養浜工法が考えられますが、海岸管理者の北海道に対し、浸食防止対策を強力に働きかけるべきと考えますが町長の見解を伺います。

町長 斜里の海岸線は冬季の波浪や台風などの影響によって浸食がすすみ後背地の施設に被害が及んでいます。

北海道は森林管理署と連携して浸食防止の波返し擁壁工事を行うなどし

ておりますが浸食はとどまることなく進行しているのが現状です。

開催し対策の検討を進めているところですが、今後も養浜工法のみならず多角的な視点で海岸保全に努めるよう要望してまいります。



斜里川河口左岸地区海岸の浸食状況。漁業番屋のすぐ後ろに釧網本線が通っている。



佐藤 広之 議員

実現あるスマート自治体に向けた取組について



録画映像を動画でチェック▶

問 労働力不足は斜里町役場でも深刻で、国は自治体に対し「スマート自治体」への転換を求めています。斜里町でも真剣に考えていく時期で業務改善が必要と考えますが、町長の所見を伺います。

町長 私もスマート自治体への転換は重要と強く感じています。デジタル技術を活用して省力化・効率化できるプロセスの抽出を現在進めているところです。

問 数値化して評価していく手法についてはどう考えますか？

町長 評価するのに全てを数値化していくのは、人的工数が少ないため難しい作業です。

問 スケジュールはどのようになっていますか？
町長 来年には方向性を示し、再来年には体制の整備を町民の皆さんに示せると思います。

横ぐしを刺す組織を町長直属に置いては？

問 業務を省力化するの標準化や統一化が必要

ですが、各課に「縦割りの壁」があり実現しにくい組織構造です。

そこで「DX推進室」を町長直属の課として、若い担当者を入れて、各課へ「横ぐしを刺す」組織を提案しますが、所見を伺います。

町長 窓口改革が一つの例ですが、税務・住民生活・水道課等の窓口とDX推進室が連携して、プロジェクトチームを立ち上げて、他職員も加わり新しい業務形態を作る取組をしています。

封入封緘業務こそ各課共通の作業。機器を導入して省力化しては？

町長 業務全般について点検、見直しており、デジタル化、機器導入、外注など様々な選択肢の中から、コスト比較や現場の声を重視しながら最適な方法を選択していきます。



石井 博美 議員

災害発生時のひとり暮らしの高齢者、車椅子使用者など要配慮者の避難誘導と避難態勢について



録画映像を動画でチェック▶

斜里町の防災組織の現状と要配慮者の避難態勢は？

問 斜里町においても斜里町地域防災計画に基づいて防災組織が作られ、地域自治会においても自主防災組織が作られ日頃から防災訓練・研修も行われていますが、要配慮者の避難誘導や避難態勢については不十分だと思えます。

特に車椅子使用者の避難誘導態勢では3人以上の人が必要と言われています。定年延長などがあり、自治会役員も多くが仕事をしており災害時に駆けつけるのが困難とも思われます。現在の斜里町としての取り組み状況について所見を伺います。

町長 「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもとに自主防災組織が、37自治会中24自治会で組織されており、令和4年度は7自治会が避難訓練を実施しており、町も3年に1度防災訓練を実施しています。避難行動要支援者名簿で事前に収集・管理をしてお

り、約1200名が登載、モデル事業として3自治会と協定を結び協力依頼を行っております。高齢化等で自治会等での対応が心配される現状も認識、住民が安心して避難できるように推進体制を整備し適切かつ柔軟な対応に心がけます。

問 実践的な訓練は考えられますか？
町長 難しい問題ですが地域での防災の考えをみんなで共有し、出来ることからすることが必要と考えます。

小学校低学年の避難場所の指導は？

町長 各学校で、避難訓練、1日防災学校など、防災教育をしています。ご家庭の中で保護者の指導が必要であり、家族会議で確認することが勧められています。





研 修 会 報 告

北網ブロック町議会議員研修会

斜里町 11月5日

北網ブロック(置戸町、大空町、美幌町、清水町、清里町、津別町、訓子府町、斜里町の8市町村)町議会議員研修会を斜里町議会が当番町となつて、斜里町公民館ゆめホール知床にて行われました。

講演は斜里町プロジェクトマネージャーの初海淳氏、テーマは「観光を軸とした知床ブランディング、これまでとこれから」と題しブランディング事業に携わった経緯から2020年現職に着任して以来、現在の任務から今後の展望について語られました。

プロモーションではなくブランディングの手法にて、Z世代からα世代に向けた戦略、知床観光から始まり最終目標が移住定住としていました。

参加者は100名、町議会議員から多くの質問が出て、盛況のうちに終了しました。



市町村議会議員研修会

(荒木議員) 滋賀県大津市 11月20日～21日

防災と議員の役割

滋賀県大津市にある「全国市町村国際文化研修所」において「防災と議員の役割」の研修会が行われ、全国から市町村議会議員約100名が出席しました。

自然災害は毎年全国各地で発生しており常に観測史上初めて記録的状况という規模で起きています。住民の命と生活を守るため、日頃からの防災意識の向上、訓練や備え

助け合える関係づくり「全国市町村国際文化研修所」において「防災と議員の役割」の研修会が行われ、全国から市町村議会議員約100名が出席しました。

この研修は、災害発生に備え平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び現在の防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考え研修してきました。講師には東京大学名誉教授平田直氏を始め跡見学園女

子大教授鍵屋一氏などにより行われました。鍵谷氏は斜里町ウトロ地区防災計画にも関わっており日本全国状況を把握しているスペシャリストであります。

過去、斜里町でも大雨による大規模範囲に渡る冠水被害や北海道東方沖地震(1994年10月4日)による道路陥没など日常生活に支障をきたす

過去年、斜里町でも大雨による大規模範囲に渡る冠水被害や北海道東方沖地震(1994年10月4日)による道路陥没など日常生活に支障をきたす

被災から約30数年経過しており当時を知る人も記憶も薄れていく中で改めて自然災害に対する議員の役割について勉強してきました。

被災から約30数年経過しており当時を知る人も記憶も薄れていく中で改めて自然災害に対する議員の役割について勉強してきました。



1992年9月12日 大雨災害時の斜里小学校グランド横道路冠水の様子

持続可能な地域創造ネットワーク会議(木村議員)

茨城県境町

11月21日～22日

11月21日から2日間の持続可能な地域創造ネットワークの会議が茨城県境町で行われ参加しました。

初日は境町町長の町づくりの講演を聞き、その発想の大胆さと実行力に驚きました。

2日目は一般的事例の発表でした。



橋本町長(47歳3期目)の実績

- ふるさと納税59億円
町長がふるさと納税上位の市町村訪ね研究した結果、全国トップクラスの納税額となる。
- スポーツを核としたまちづくり
オリンピック基準の「ホッケー場」「テニスコート」「柔道場」「BMXとローラースケート場」などを設置。他にサーフィン専用の波の出るプールもある。
- すべての子どもが英語を話せる町へ
英語教師(フィリピン人)を24人雇用して英語教育する。小学6年生の英検5級保有率73%、中学3年生の英検3級保有率42%となる。
- 移住定住対策と子育て日本一を目指す
 - ・英語移住
 - ・20歳まで医療費無料
 - ・給食費半額3人目無料
 - ・育児用品クーポン3万円
 - ・45歳以下の町外居住者で、中学生以下の子供がおり地域活動に積極的に参加し20年住み続けた方に、新築戸建て無償譲渡。また家賃助成も事業化。

- 今年度の町内所管事務調査は、みらいあーる最終処分場、朝日小学校、知床博物館、津軽藩士関係史跡など施設現況や今後の整備についての調査、また地域公共交通実証運行についての状況確認を行いました。

1. みらいあーる最終処分場の現況と次期整備における計画値の確認について

現在の最終処分場は10年が経過し、3分の2が使用しており、メタンガス抜きが5本設置しているが今後6～7年で使用完了する見通しです。広域処理との関係性も考慮しながら、少しでもコストの抑えられる結果となるよう注視が必要と思われる。



みらいあーる最終処分場

2. 朝日小学校長寿命化改修事業について

特に今年は猛暑だったため、各教室等の冷房設置状況も確認しましたが、工事の進捗状況については順調に進められていました。遊具の現況調査について、グラウンドに設置してある遊具を視察しましたが、特に木を使用した遊具が年数経過と共にひび割れしており、早急に今後の対応が必要であると考えます。



朝日小学校

3. 知床博物館施設現況について

博物館についての事前説明を担当職員より受け、その後施設を確認しました。特に説明を受けた中で、本館・歴史民俗資料館は築45年、交流記念館は築30年が経過し、老朽化が進行しています。2028年は知床博物館50周年を迎えるため、入館者数対策も含め具体的な検討が必要であり、観光振興を視野に入れ時代に合った改築の検討をすべきと思われる。



知床博物館

4. 津軽藩士関係史跡の現況について

町内6ヶ所の史跡の説明を担当職員より受けながら現地視察を行いました。その中で、木で建てられた史跡3ヶ所と説明板が塩害により劣化しており、早急に対応が必要と思われる。また町民にも史跡をPRする必要があると感じました。



津軽藩士関係史跡

5. 地域公共交通実証運行について

9月から11月まで実証実験しており、現地企業に行き現況の説明を受けました。車1台、運転手1名で対応しているとのこと。利用時間帯は午前中に集中しており、1人での乗車が多く、多い時で20件、少ない時は4、5件であり、行き先は買い物及び国保病院が多いとのことでした。利用客は平均してそれほど多く無いようですが、途中経過でもあり、効果検証を行い新たな公共交通体系を構築すべきと考えます。



地域公共交通実証運行



所管事務調査とは

町から提案された予算案条例案などの議案を審査するのとは違い、条例の立案や町への政策提言などの政策形成等を目的に、常任委員会が自主的に所管する事務について行う調査のことです。

●今年度の町内所管事務調査はウトロ地区を中心に、観光地の現状や漁港、施設の状況調査を行いました。現場で担当課の説明を聞き、今後の事業展開についてや改善策なども確認し、委員会で協議をしました。

1. ルシャ地区 (ルシャ地区の現状と今後の利用の可能性)

現在一般の立ち入りはできませんが環境保全や道路の維持管理などの観点から現状調査を行いました。海岸のごみの状態や通信設備の設置状況など今後に向けた課題も見受けられました。



ルシャ地区

2. カムイワッカ湯の滝 (カムイワッカ湯の滝の現状と今後の課題について)

今年度18年ぶりに4の滝まで開放した経過と現状について調査しました。体験型観光として希少価値がありますが安全面とのバランスが課題です。



カムイワッカ湯の滝

3. オロンコ岩 (老朽化が進む木道について)

修繕箇所の確認や安全対策について現状確認をしました。木道は老朽化が進み都度修繕していますが今後の整備の考え方なども確認しました。



オロンコ岩

4. オロンコ岩駐車場～ウトロ漁港 (東港中突起) (トイレの必要性の調査及び小型観光船乗り場整備について)

駐車場トイレ撤去後の状況や、観光船乗り場について調査を行いました。委員からは小型船乗り場はユニバーサルデザインの導入も検討すべきではという意見も出されました。



オロンコ岩駐車場

5. ウトロ漁港 (ペレケ新港) (特定漁港漁場整備事業計画 (農林水産省)について)

今年度から設計を開始し令和14年度に完成予定です。新たな船着場の整備と用地確保がされ、漁業従事者の労働環境改善が期待されます。



ウトロ漁港

6. 海別川魚道 (海別川の可搬魚道設置試験の現状について)

令和2年から香川高等専門学校と連携し行っている可搬魚道設置試験ですが遡上に一定の効果が出ており、令和6年度まで設置し環境DNA調査も踏まえ今後の継続を検討していく予定です。



海別川可搬魚道



委員会活動報告

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
議会広報常任委員会・議会運営委員会



斜里町議会では、常設の四つの委員会が、各々の役割を持って活動しています。
それぞれの委員会では、どのようなことが行われているのか、その様子や内容をお伝え
します。

総務文教常任委員会

- 10月11日(第7回)
 - ・町内所管事務調査、まとめ
- 11月24日(第8回)
 - ・町内所管事務調査報告まとめについて
 - ・令和6年度道外所管事務調査実施について
- 12月13日(第9回)
 - ・12月定例会議議案説明
 - ・道外所管事務調査日程について
- 12月21日(第10回)
 - ・道外所管事務調査先について

産業厚生常任委員会

- 9月26日(第7回)
 - ・町内所管事務調査、まとめ
- 11月9日(第8回)
 - ・AI乗合タクシー実証運行の現状調査
- 11月24日(第9回)
 - ・道外、町内所管事務調査報告書について
- 12月12日(第10回)
 - ・12月定例会議議案説明

議会広報常任委員会

- 10月12日(第7回)
 - ・議会だより201号の校正作業
- 10月18日(第8回)
 - ・議会だより202号に向けての構成方法について
- 11月28日(第9回)
 - ・議会だより202号のデザイン・見やすさにつ
いて
- 12月20日(第10回)
 - ・議会だより202号のページ割り等につ
いて

議会運営委員会

- 10月18日(第8回)
 - ・9月定例会議第29日目の議事運営につ
いて
- 10月18日(第9回)
 - ・議会モニターの検証について
- 11月15日(第10回)
 - ・令和6年度所管事務調査につ
いて
 - ・特別委員会の設置につ
いて
 - ・意見書の取扱につ
いて
- 11月24日(第11回)
 - ・11月臨時会議の議事運営につ
いて
- 12月15日(第12回)
 - ・12月定例会議に係る協議につ
いて
- 12月21日(第13回)
 - ・12月定例会議第3日目に係る協議につ
いて



編集後記



今回の議会での一般質問は13名の議員の中6名が質問しました。今回の
質問テーマは幅広く行われました。

2023年も終わり、2024年が始まりました。2024年は国立公園60周年、
2025年は世界遺産登録20周年です。

広報委員会の活動も気持ち新たにますます町民にわかりやすく、興味を
持ってもらえるような広報誌に改善していきたいと考えております。

本年もよろしくお願いいたします。

広報委員会 荒木 敏則、渡邊 誠、海道 徹、小暮 千秋、佐藤 広之、
石井 博美

- ・Facebookで議会の情報を発信中!
- ・ホームページでは、議会インターネット中継、
録画配信・会議録、広報も見ることができます。

<http://gikai-sharitown.net/index.html>

Facebook



ホームページ



斜里町議会

で検索



発行：斜里町議会 〒099-4192 斜里町本町12番地 ☎(0152) 26-8392 [直通] 編集：議会広報常任委員会